

日本橋



朝櫻楼
國芳画

金沢市

通巻 400 号記念特別企画 〈林家木久扇師匠と水森亜土さんのスペシャル対談〉

キクちゃん & アドちゃんの ふるさと 日本橋を語る



月刊日本橋が通巻 400 号を迎えたお祝いにと、日本橋出身のお二人がふるさとに帰ってきてくれました！ お二人が語る日本橋の思い出……さてさて、どんな話が飛び出すのでしょうか！

写真／遠藤拓哉 撮影協力／割烹松楽、江戸東京再発見コンソーシアム

巫主「実家は日本橋川浴いたから、
お風呂場から亀とか釣ってたのよ」

木久扇「裸で? (笑)」

日本橋川クルージングへ出発!!

川にまつわる思い出話
に、会話も弾む!

昨年新設された日本橋船着場から
電気ボートに乗船

日本橋南詰東〈滝の
広場〉にある双十郎
河岸の石碑にて

◇日本橋川クルーズへ出発

亜土 ウーン、風

が気持ちいい!

木久扇 電気モーター

だから、エンジン

音が静かです

ね。それにしても

川が臭わなくなっ

た。



電気ボート「江戸東京号」

亜土 本当。昔は

なんとも言えないメタンガスの良い

匂いがしてね。私はドブ川の匂いつ

て好きだから、少し残念かな……。

木久扇 浄化活動してるからかな。

昔の川は汚かったですよね。

亜土 汚かった! 子供の頃、鬼

ごっこしていて勢い余って日本橋川

に何度も落ちたの。水がヌメヌメし

ていて、なかなか這い上がれなかつ

た。

◇川で遊んだ子供時代

——(編集部) 川にまつわる思い出

をお聞かせください。

木久扇 僕は久松町生まれで生家は

雑貨問屋。近所に川や堀がたくさん

あったから、小さい時から川は枕元

にあるような身近な存在でした。お

ばあちゃんに連れられて、浜町河岸

から水上バスで浅草へ行ったり。そ

れと、親父が船頭さんを雇って、屋

形船で天ぶらを食べたこともありま

す。お付き合いのある旦那衆も誘っ

てね。柳橋からお台場の方まで行っ

て、網で獲った魚をその場で揚げて

くれるんです。

亜土 私のお父ちゃんは建築屋で、

お母ちゃんは絵描きだったの。でも

プロじゃないのよ一枚も売れなかつ

たから(笑)。実家は日本橋川沿い

だから、お風呂場から亀とか釣った

のよ。

木久扇 裸で?(笑)

亜土 キヤハハ! あとは、お腹に

小判の模様があるハゼみたいな小さ

い魚も釣ったな。それと、小学生の

プロフィール

林家木久扇

昭和12年10月19日、日本橋久松町生まれ。生家は雑貨卸商。昭和31年、都立中野工業高等学校食品化学科卒業後、森永乳業に就職。同年8月に漫画家・清水崑氏門下へ入門。昭和35年、崑氏の紹介により落語家桂三木助門下へ入門。芸名桂木久男で見習い。翌年、三木助没後、林家正蔵門下へと移り、前座となり芸名林家木久蔵となる。初高座は新宿末広亭、演題は「寿限無」。昭和47年、林家木久蔵のまま真打ち昇進。昭和57年「全国ラーメン党」結成、会長に就任。テレビやラジオ、雑誌などマスコミでの活躍はご存知の通り。平成19年には木久扇に改名し息子が二代目木久蔵となるダブル襲名を行う。現在は、(社)落語協会相談役、(社)俳人協会会員、鯨の食文化を守る会会員など精力的に活動中

.....

水森亜土

日本橋室町生まれ。桜蔭中学校・高等学校を経てハワイのモロカイハイスクールに遊学し、ジャズとハワイアンの洗礼を受ける。帰国後、水島早苗氏に師事して本格的にジャズを学ぶ。1970年代にNHKのテレビ番組「たのしいきょうしつ」で、透明なアクリルボードに歌いながら両手で同時にイラストを描くパフォーマンスで話題に。現在はジャズ歌手、イラストレーター、「劇団未来劇場」での女優業と、多方面で活躍中。

頃は日本橋の北詰(乙姫広場)にボート屋があつて。わざと川にお椀とか物差しを落として、お母ちゃんからお金をもらつてボートに乗つた。当時30円くらいだつたと思う。

木久扇 僕は橋の上から、行き交う船におしっこひっかけけるイタズラをしたりね。追いかけてこられないから(笑)。

亜土 船で泥や石炭を運ぶ水上生活者の人を、家のお風呂に入れてあげたこともあつたな。

木久扇 僕もそんな船に遊びに行つたことある。そうそう、彼らの子供が学校に編入してくることもあつたな。2〜3ヵ月するとまたどっか行つちやうんだけどね。

——お二人が子供の頃は、まだ首都高速道路は架かつてませんよね。

亜土 高速道路が架かる前は日本橋や西河岸橋の黄色っぽい電燈やビルの明りが川面に揺れて、すごくキレイだった。この高速道路のせいで、景観は台無し。家の前に高速の柱が立った時は爆破しようと思つたほどよ。それで花火屋さんに電話したけど、さすがに爆破とは言えないし……でも何度も計画したのよ(笑)。
木久扇 僕もこの高速道路はイヤだな。

——船は日本橋水門から亀島川方面へ向かつています。

木久扇 (靈岸橋近くにあるレトロな建物を見て) 怪人二十面相の挿絵に出てきそうなビルだね。

亜土 怪人二十面相！ 懐かしい！ いいね！

木久扇 戦後で娯楽がないから、小学四年生で江戸川乱歩の探偵ものや銭形平次とか大人向けの小説を読んだ。でも意味が分からない部分もあつて、(恋女房のお静)つてのが出てくるんだけど、お静って人が鯉を飼っているのかと思つた。いつも膝に鯉を抱いてたら着物が濡れて大変だろうななんて。銭形平次の好きなのは、腰にぶら下げた寛永通宝を犯人にシュツと投げるっていうのが斬新だったから。

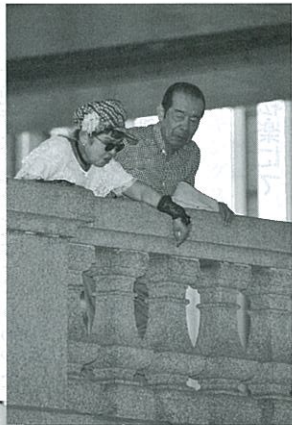
亜土 投げた後で拾うの？ お金でしよう？
木久扇 そりゃ投げっぱなしでしょう。拾つたら格好悪いじゃない。ケチケチしてて。

亜土 後でそーつと拾いに行つたらイヤね(笑)
木久扇 子分のガラッ八に拾わせたりして？ すごい発想ですね。銭形平次は神田明神下に住んでる親分なんでね。水森さんは室町だから神田明神の氏子でしょう？

亜土 そう。神田祭にはよく行った。木遣りが好きで、お神輿も担いだ。盆踊りも大好きで、水天宮、人形町

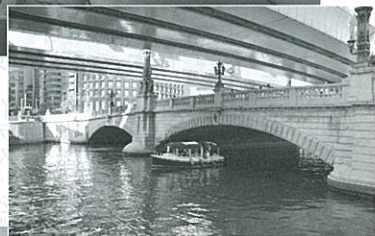


娘時代の亜土さん。神田祭でお母さんと



◀日本橋川沿いの垂土さんのご実家

◀「日本橋の欄干の外側を走ってたの」と、垂土さん



▲風が気持ちいい！

「今度は船で同窓会を開きたいな」と木久扇師匠▶

